宝山ホールボランティア通信誌

「語いもんそ」

Vol.５０　平成３０年 ３月 ３０日発行

この通信誌は，宝山ホールで活動されているボランティアスタッフによって発行されています。

♪♪♪ 日曜の朝にカフェで音楽を ♪♪♪

カフェ ミニコンサート

出演（公財）鹿児島県文化振興財団
アーティストバンク登録アーティスト
宝山ホール２階　“カフェ マ・ナ～ナ”

毎月１回 日曜日の午前 10 時 30 分から 11 時 15 分まで開催されています。

（入場料は無料ですが、要ワンオーダー）

●2017 年１２月１０日（日）は、上村郁美さん（ユーフォニアム）と西田詩音さん（ピアノ）のお二人で、A.メンケン作曲「映画“美女と野獣”より 美女と野獣」、C.サン＝サーンス作曲「組曲“動物の謝肉祭”より 白鳥」、C.ドビュッシー作曲「２つのアラベスク １番」、F.ショパン作曲「エチュードＯｐ．１０－４」、尾崎豊作曲「Ｉ ＬＯＶＥ ＹＯＵ」、クリスマス・ソングメドレーとして、J.L.ピアポント作曲・伊藤康英編曲「ジングル・ベル」、作曲：不詳・伊藤康英編曲「荒れ野の果てに」、G.F.ヘンデル作曲・伊藤康英編曲「諸人こぞりて」、G.ビゼー作曲・E.ウィルソン編曲「オペラ“カルメン”より 花の歌」など９曲とアンコールに、ディ・カプア作曲「オー・ソレ・ミオ」が演奏されました。

お客様から「ピアノは素晴らしく、ユーフォニアムはあたたかい音色でした。クリスマスソングが楽しく、一足早いクリスマスの雰囲気を楽しみました」

「フレッシュながらもしっかりした技術力で、ユーフォニアムの大らかな音色もピアノも素敵でした。素敵な演奏が聴けてとても心地よいひと時を過ごすことができました」などの感想をお聞きすることが出来ました。

上村郁美さん（ユーフォニアム）　西田詩音さん（ピアノ）

●2018 年１月 14 日（日）は、村永真緒さん（ホルン）、堀ノ内菜摘さん（ピアノ）、仙田葉子さん（賛助出演・ホルン）の三人で、久石譲作曲「崖の上のポニョ」・「“となりのトトロ”より 風のとおり道」、E.グラナドス作曲「演奏会用アレグロ」、久石譲作曲「“魔女の宅急便”より海の見える街」、A.メンケン作曲「“アラジン”より ホール・ニュー・ワールド」、F.ショパン作曲「ワルツ第９番変イ短調 op.69-1」、

G.ダグラス・G.ワイス作曲「この素晴らしき世界」、文部省唱歌「冬景色～雪」、いずみたく作曲「見上げてごらん夜の星を」、新井満作曲「千の風になって」など 10 曲と、アンコールに岡野貞一作曲「ふるさと」が演奏されました。

仙田葉子さん（左・ホルン） 村永真緒さん（中央・ホルン）
堀ノ内菜摘さん（右・ピアノ）

○お客様に感想をお聞きしました

・村永音々さん　　鹿児島市

「姉が出演するということで、カフェ ミニコンサートに初めて来てみましたが、休日の朝にコーヒーを飲みながら音楽が聴けるのはとても素敵だなと思いました。ホルンのソロだけでなく、デュエットも聴けて、ホルンの魅力が伝わる演奏会になったのではないかと思います。

小さなお子様連れのご家族もいらして、とても温かい雰囲気の演奏会で良かったです」

出演者と 村永音々さん（中央）

●2018 年 2 月 18 日（日）、春花美咲さん（リコーダー）と鮫島彩香さん（ピアノ）のお二人で、栗原正巳作曲「ピタゴラスイッチより“ピタゴラスイッチオープニングテーマ”」、作曲者不詳「小鳥愛好家の楽しみより」、E.サティ作曲「JE ＴＥ ＶＥＵＸ」、中村八大作曲「上を向いて歩こう」、作曲者不詳「Paul Steeple」、作曲：J.S.バッハ（伝）「フルートとハープシコードのためのソナタ第 2 番より“シチリアーノ”」、F.クライスラー作曲「愛の悲しみ」、H.C.ワーク作曲「大きな古時計」、吉俣良作曲「大河ドラマ篤姫より“素こやか”」、松任谷由実作曲「春よ、来い」など 10 曲とアンコールに、槇原敬之作曲「どんなときも」が演奏されました。

お客様から「リコーダーとピアノのハーモニーがとっても素敵でした。リコーダーの可能性を感じ、出演者と私たちが一体感を感じたフレッシュでステキなコンサートでした」などの感想をお聞きすることが出来ました。

春花美咲さん（リコーダー）　鮫島彩香さん（ピアノ）

●3月18日（日）は、幸多優さん（サクソフォン）と幸多啓子さん（ピアノ）のお二人で、F.メンデルスゾーン作曲「春の歌 ～無言歌集第5巻作品62-6～」、宮城道雄作曲「春の海」、J.M.ダマーズ作曲「ヴァカンス」、成田為三作曲「浜辺の歌」、L.バーンスタイン作曲「マリア ～ウエスト・サイド物語より～」、R.ヴィードフ作曲「サクソフォビア」、P.M.デュボア作曲「フランス風、パリジェンヌ ～性格的小品集より～」など7曲とアンコールに、E.ボザ作曲「アリア」が演奏されました。

お客様から「サクソフォンを堪能できてよかった。演奏曲の解説やサクソフォンの楽器としての歴史の説明もあり、とても勉強になりました」

「豊かな、深い音色がとてもステキでした」などの感想をお聞きすることが出来ました。

幸多優さん（サクソフォン）　幸多啓子さん（ピアノ）

かごしま明治維新博イベント

演劇講座　成果発表会

県民による創作演劇「西郷（せご）どんがやって来た」
プレイベント公演
平成29年12月19日（火）　宝山ホール

平成22年度に上演した「県民による創作演劇『西郷どんがやって来た』」。
明治維新150周年を迎える平成30年度にキャストを公募し再演する予定です。今回はそのプレイベント公演で、出演は「演劇講座」受講生のみなさん。

●舞台の一場面

●出演者（受講生）にお聞きしました

・福山優由さん　　鹿児島市

「初めて受講した演劇講座でお芝居の楽しさや難しさを改めて感じました。成果発表会の舞台は笑顔で一生懸命出来たことが良かったです。次も受講したいです」

○お客様に感想をお聞きしました

・福山久美さん　　鹿児島市

「今回は講座の成果発表会ということで同じ筋書きをキャストが入れ代わって４回観ましたが、それぞれに役柄の味付けがあり短い時間の中に、受講者お一人お一人の成果、演じる情熱がぎゅっと詰まっているようでした。

我が子の登場回以外も楽しませていただきました。講座の毎練習後に家庭で話しをしてくれましたが“雑談中などはおとなしくてもの静かな方が、いざ台詞の読み合わせや演技に入るとパッと輝いてその役の人のように見えるんだよ”と人の力、演劇の持つ力に心を動かされていたのが強く心に残っています。

舞台上の我が子は緊張と集中の間で少々上気した頬をしているのが見えましたが本人なりの精一杯を演じて、悔いはなさそうです。

テーマ曲“ジャッド節”の中にある“豊かな人情・心配り”を心に留めて自分の思う道を進むとき、思い出して欲しいなあと思うことでした」

福山久美さん（左）　福山優由さん（右）

宝山プレゼンツ

オペラシアターこんにゃく座公演

オペラ「ネズミの涙」

平成 29 年 12 月 23 日（土・祝）宝山ホール

ものがたりはネズミの世界で舞台は縁の下の戦場。ネズミのような、人間から見ればちっぽけな動物が芝居をしたり、戦争に巻き込まれたり、恋をしたり、喜び、悲しみ、絶望し、希望を取り戻したりしながら生きていく姿をとおして、私たち「人間」に希望をもって生きる勇気を与えてくれました。

○お客様に感想をお聞きしました

・岩﨑花菜美さん　　宮崎県宮崎市

「初めてのオペラ鑑賞だったのでとても楽しみにしていました。

思っていたよりも分かりやすく、時事ネタもたくさん入っていたので驚きました。歌も衣装もセットも素晴らしかったです。機会があればぜひまた観たいと思います」

・岩﨑千穂さん　　宮崎県宮崎市

「世界観が素晴らしかったです。

後半にかけてのたたみかけに、舞台の世界に引き込まれていきました。シリアスな内容の中に笑いをうまく入れ込んでいて、あまり暗くならずに観ることができました。

歌声も素晴らしかったです、平和を願います」

出演者と 岩崎花菜美さん（左）　岩崎千穂さん（右）

宝山ホール広報ボランティア 『語いもんそ』編集部
〒892-0816　鹿児島市山下町 5-3 宝山ホール
電話 (099)223-4221　FAX (099)223-2503
撮影・取材記事　広報ボランティア　四十住 孝行